

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- \*賛美 …………… 53番
- \*交読文 …………… 46番
- \*使徒信条 …………… 会衆一同
- \*頌栄 …………… 180番
- 礼拝のための祈り ……… 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 …………… 410番
- メッセージ …………… エリエゼル - 天からの縁談話を携え来る助け主(創 24:34-53)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 451番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 …………… 来週は収穫感謝祭になります。
- \*主の祈り …………… 会衆一同
- \*祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

\_\_\_\_の衣はみな没薬、芦薈、肉桂で、よいかおりを放っている。琴の音は象牙の殿から出て、\_\_\_\_を喜ばせる。・・・\_\_\_\_よ、聞け、かえりみて耳を傾けよ。\_\_\_\_の民と、\_\_\_\_の父の家とを忘れよ。王は\_\_\_\_のうるわしさを慕うであろう。彼は\_\_\_\_の主であるから、彼を伏しおがめ。  
ツロの民は贈り物をもちきたり、民のうちの富める者も\_\_\_\_の好意を請い求める。・・・\_\_\_\_は縫い取りした衣を着て王のもとに導かれ、その供びとなるおとめらは\_\_\_\_に従ってその行列にある。彼らは喜びと楽しみとをもって導かれ行き、王の宮殿にはいる。\_\_\_\_の子らは父祖に代って立ち、\_\_\_\_は彼らを全地に君とするであろう。わたしは\_\_\_\_の名をよろず代におぼえさせる。このゆえにもろもろの民は世々かぎりなく\_\_\_\_をほめたたえるであろう。(詩篇 45:8-17)

主はアブラハムの老僕の旅を守られ、彼とアブラハムが求めた通りの、ぴったりの娘の所へと導かれた。この老僕は、15章に登場したダマスコのエリエゼルと思われるが、エリエゼルの名は「助け主」「慰め主」の意味があり、聖霊を意味するギリシア語の「パラクレートス」に相当する。彼のこのイサクの嫁探しの旅は、現代、私達に働かれる聖霊の働きと、とても一致しているので、今回、その視点から見ていきたい。

彼は、リベカの父ベトエルの家に招かれ、食事が並べられた時、食事に手をつける前に要件を伝えようとする。その要件とは、つまるところ縁談話なのだが、それは、世の縁談話とは全く異なったものであった。彼はまず、自分は、主人アブラハムに仕える僕である事を紹介する。主人は大いに富んでおり、通常ではあり得ない仕方ですとひとり子を授かり、彼に全ての富と権威を相続させた事、そして、主人は彼のために花嫁を求めており、その花嫁たる条件は、墮落したカナン人の娘ではなく、アブラハムの家系の信者から探す、という事を伝えた。(33-38 節)  
聖霊も、同じように、キリストの花嫁候補である私達の所に遣わされ、私達に偉大なる神と、神のひとり子イエスキリストを紹介される。聖霊は、あかしする。御子キリストは、人間わざではあり得ない仕方です生まれ、父なる神はこの御子に全ての権威と富を相続させた事、そして、キリストは花嫁を求めており、その花嫁たる条件は、墮落した世の人間ではなく、信仰によって救われた「アブラハムの子孫」であるべき事を。しもべは、心配した。『もしその女がわたしについてこない時はどういたしましょうか?』(39 節)  
聖霊も、うめきをもって心配する。その人が、せつかくのキリストとの縁談話を、断ってしまわないか、と。アブラハムは「その女があなたについて来ることを好まないなら、あなたはこの誓いを解かれる。ただわたしの子を向こうへ連れ帰ってはならない」(8 節)と言ったが、聖霊は、人にキリストとの縁談話をもちかけても、強制はしない。もしその人が断るようなら、残念ながらその人の所に決してキリストが訪れる事は無い。

「あなたがたが、もしわたしの主人にいつくしみと、まことを尽そうと思われるなら、そうとわたしにお話してください。そうでなければ、そうでないとお話してください。それによってわたしは右か左に決めましょう。」(49 節)  
ラケルがこの僕について行って、栄光の花婿に嫁いで行くかどうか、決断が迫られたように、私達も、聖霊の導きに従ってキリストの元へ嫁ぐかどうか、決断を迫られる。それは全く私達の自由意志に任されている。なんと、世の縁談話とはかけ離れたやり取りであろうか。普通、縁談なら「おたくのお嬢さんを下さい」と頭を下げるものだが、このしもべはそうした事は一切無い。自分は神の一族から使われた者、そして神の御心はこうで、神はこのように導いて来られ、今ここにきて、話をしております。さて、あなたはどうしますか？  
天からもたらされる縁談話はそのようなもので、人に媚びる事は一切無く、ただ決断を迫るものである。

『ラバンとベトエルは答えて言った、「この事は主から出たことですから、わたしどもはあなたによしあしを言うことができません。リベカがここにおりますから連れて行って、主が言われたように、あなたの主人の子の妻にしてください。』(50-51 節) 彼らは「良し悪し」を論ずる事なく、主のご意思に従うと告白した。もし彼らが拒んでいたならば、リベカはイサクと結婚する事なく、リベカは全人類を救いへ導く王族の家系に嫁ぐ事も、莫大な栄誉と財産を継ぐ事も、無かった。同様に私達も、主のご意志を拒否し、自分由来の善し悪しを論じて、遣わされた聖霊を拒否するなら、自ら栄光への道を閉ざしてしまい、天の王族の家系へ嫁ぐ事も、莫大な栄誉と財産を継ぐ事も無い。それは、途方もなくもったいない事である。

「アブラハムの僕はこの言葉を聞く時、地に伏して主を拝した。そして、金銀の装身具や衣装を取り出してリベカに贈り、その兄と母にも高価な品物を贈った。」(52-53 節)  
栄光の家系への縁談が成立したなら、本人にも、家族にも、さらなる贈り物が与えられる。天の縁談話を受け入れた私達への贈り物は、聖霊ご自身であり、それは御国を受け継ぐための手付金である。(エペソ 1:14) そして、家族への贈り物とは、救いである。(使徒 16:31)  
私達は常に、御霊に従って歩むか、肉に従って歩むかの決断に迫られているが、都度、御霊を選んで、天の花嫁として磨きかけられていく皆さんでありますように。イエス様の名前によって祝福します！

# 横浜天声キリスト教会

## 礼拝 週報



### 集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

#### 日曜礼拝

1部礼拝	10:30
食事/フェローシップ	12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有)	14:00
聖書の学び会(詩篇)	15:00

金曜徹夜祈禱会 21:00～

#### 日々の集会

月～金 早天祈禱会	5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会	13:00～
火～木 夜の祈禱会	19:30～

#### 水曜集会

1部	13:00～
2部	19:30～

### アクセス



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅  
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分  
JR・関内駅より徒歩10分  
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、  
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、  
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で  
聖書メッセージをメールで  
毎日携帯にお届けします。  
左記コードを読み込み、  
空メールを送信するだけ！

〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: [ephes\\_03-tensei@yahoo.co.jp](mailto:ephes_03-tensei@yahoo.co.jp)



モバイルサイト